OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

キャンパスライフ詰まってます!!
大教生の声を届けるフリーペーパー

DAIKYO PRESS

vol.13

教育・コース別
勝負服みせまショウ! P.2
ダイメシ!(大教生の昼飯) P.3
研究室におじゃま! P.4,5
意外と知らない!? 職員の声 P.6,7
潜入調査→in天王寺キャンパス P.8

大阪教育大学 学生広報
DAIKYO PRESS vol.13
2015年7月発行

土足の制作室でも
頭の下に何かを敷けば
そのまま寝られます(笑)

愛用の道具たち!

芸術専攻美術

3回生 辻元(つじもと) 美穂(みほ)さん

このツナギは去年の3月に作業着屋さんで買いました。選ぶ時のポイントは安さと色です。ずっと着るので飽きない色を。ポケットがたくさんあるところや服の上から着られるところがお気に入りです。こだわりは頻繁に洗わないこと!汚れも頑張った証拠ということで(笑)

他の人の白衣の汚れ方を見ると、
何の実験をしたのか
予想がつくことがあります。

収納にも
工夫がみられます

自然研究専攻

2回生 萬代(まんだい) 悠太(ゆうた)さん

化学の実験の時、薬品がはねると危険なので白衣を着ます。生協で販売している白衣は無地ですが、父から貰ったこの白衣には黒いラインが入っていて、そこが気に入っています。実験の際にはゴーグルをつけますが、眼鏡をかけている人は眼鏡のままで。

専攻・コース別 勝負服みせまショウ!

コースごとに学ぶ中身が違うのはもちろんだけど、外見(そとみ)だって違う!?
異なる専攻・コースの学生4人に専門分野で「勝負」するときの服装を見せてもらいました!

芸音の女の子は
スカートやレースといった
女の子らしい服装の人が
多い気がします。

演奏中は髪が顔に
かぶらないようにします

芸術専攻音楽

2回生 喜多(きた) 千春(ちはる)さん

人前で演奏する時にはきちんとした格好でという慣習があり、私も他の音楽コースの学生もそうした服装を心がけています。伴奏の時は目立たない色の服で…など、シーンによって衣装の雰囲気を変えます。このワンピースは主に試験の時などに着ています。

たまに私服を着て
登校すると
「デートか?」と
いじられることも(笑)

顧問の先生の
似顔絵入りTシャツ!

スポーツ専攻

2回生 岩下(いわした) 美桜(みお)さん

専攻全体でも私服登校の人の割合は低くて、みんなほぼジャージ登校です。とにかく動きやすい!冬は下にたくさん着こめるので私服より暖かいです。このTシャツは私の所属している陸上競技部が関西インカレのために作ったもの。4回生がデザインを担当し、完成したTシャツを部員に配るのが毎年の恒例なんです。

健康生活科学 3回生
関 由佳さん

好きなおかず
ケチャップライス
得意なおかず
卵焼き

こだわり
節約のために
前日の晩ご飯の
おかずを入れる。

健康生活科学 3回生
大西 ふみかさん

好きなおかず
明太子入りのはんぺん
得意なおかず
卵焼き

こだわり
冷凍食品は使わない。

健康生活科学 3回生
矢野 真亜子さん

好きなおかず
さつまいもの甘煮
得意なおかず
ひじき煮

こだわり
健康や彩りの
ために毎回
野菜を入れる。

こだわりあり! お手製弁当

ダイメシ! 大教生のお昼ご飯

食堂やコンビニではなく手作り弁当を持ってきている5人にインタビューしました!お母さんの愛情たっぷりのお弁当も早起きして自分でつくるお弁当もどちらも魅力的ですね。写真を見ているだけでおなかが鳴ってしまいそう!

中学校美術 1回生
山下 真穂さん

好きなおかず
卵焼き

お弁当の感想
焼きそばとご飯
というダブル炭水化物
です。ずばり焼きそばは昨日の晩ご飯です(笑)
昆布は少し飽きてきたのですが、卵焼きが入って
いる日は一緒に食べるのがお気に入りです。

おもしろエピソード
高校生のころ練り物がよく入っていたのですが、お弁当を開けたら、切っていない笹かまがドーンと入っていたことがありました!お弁当の半分以上を占めていましたね。友達も私もびっくりしました。恥ずかしかったのでその時に練り物は嫌だと母に伝えたら、入らなくなりました。

愛情たっぷり! お母さん弁当

小学校国語 2回生
黒田 潤介さん

好きなおかず
唐揚げ

お弁当の感想
野菜のみそ炒めは
ご飯と合うので好きです。
基本は白ご飯ですが、
かやくご飯の日は
テンションが上がります!

おもしろエピソード
おかずの入れ物が2つあって、いつも片方が野菜で片方が肉系ですが、父と同じ弁当箱なので母が入れ間違えて両方肉の日がありました。僕はラッキーでしたが父は両方野菜だったと考えるとちょっとかわいそうですね…。

理系　芸術　文系

ゼミ室におじゃまっ

“ゼミ室”って1、2回生は縁が薄いし、3、4回生にしても所属ゼミ以外の部屋をのぞくことはほぼないのでは? そこでDAIKYO PRESSでは、理系、文系にわけて2つのゼミ室にお邪魔してきました!
ゼミ選択で役立つ情報もあるかも!?

理系
植物分子遺伝学ゼミ（通称：鈴木ゼミ）

研究室全体図

三原さん（左）と鈴木教授（右）。
白衣も着てもらいました!

教養学科自然研究3回生
三原淳希（みはら あつき）さん
右は指導教員の鈴木剛（すずき ごう）教授

棚の中には実験で使う薬品がいっぱい!

研究室の奥の部屋には本格的な顕微鏡もあります!

Q. 鈴木教授のゼミでは主にどのようなことを勉強するのですか?

鈴木ゼミでは、主に植物分子遺伝学やバクテリア人工染色体を使うゲノム解析、高等生殖機構の研究などで、ざっくり言うと植物の遺伝子やゲノムについて研究します。細胞から遺伝子を取り出したりする作業も多いんですよ。僕はまだ3回生なので、本格的なゼミ研究は始まっておらず、普段は授業が中心です。

Q. なぜこのゼミを選ばれたのですか?

もともと生物が好きだったことと、遺伝子とかゲノムという植物の分野をしたいと思ったからです。あとは、教授が学年担任で、話しやすいことも理由の一つですね。

Q.鈴木教授の第一印象を教えてください。

話しやすそう、優しそう、面白そう、そして緩そうでした（笑） 授業等でもたまに雑談を挟んだり、質問等に行っても素早く丁寧に対応してくれるので最初からとても話しやすく、相談などもしやすかったです。

Q.ゼミを選ぶ上で何かアドバイスはありますか?

それぞれのゼミ室ごとに色があるので、その室の特徴や雰囲気が自分と合うかどうかが大切だと思います。自然研究の場合、ゼミ選択は学生同士が集まって話し合いで決めるため、妥協しないといけない場面も出てきますが、自分の信念は最後まで曲げないほうがいいですね。

芸術
デザインゼミ

全体図

教養学科芸術専攻美術コース3回生
楠 明日葉（くすのき あすは）さん

Q.デザインゼミとは、どのようなゼミですか?

芸術専攻美術コースのゼミは作品の制作活動が主体です。その中でもデザインゼミは絵画ゼミや立体ゼミとは異なり、イラストレーターなどのパソコンソフトを駆使した制作をしています。
デザインといっても、世の中にはプロダクトデザイン、ビジュアルデザインやインテリアデザインと幅広くジャンルが存在するため、同じゼミでありながらも学びたいことや興味を持っていることが人それぞれ違っています。

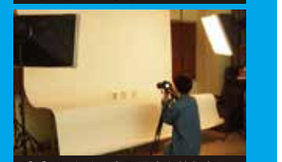
Q.なぜこのゼミを選ばれたのですか?

1、2回生で立体、絵画、デザインと学んできましたが、それぞれの作品を制作していく上で、デザインに深く興味を持つようになりました。
デザインは生活していく上で、ポスター、雑誌やパッケージ、電化製品といったように、常に身の回りに存在しているものであり、とても重要なものです。そこに自分の手を加える事で、より良いものを多くの人々に発信していきたいと思ったからです。また、デザインには多くのジャンルがあるため、自分自身の可能性をしぼることなく挑戦し、経験を得られると思ったからです。

Q.これから学んでいきたいことは何ですか?

まだまだ構成や色の選びなどデザインをしていく上で足りない部分があるため、自分自身で美しいと思える方程式や新たな発見をしていきたいと思っています。また、アニメーションにも挑戦したいです。

大判印刷できる専用の大型プリンター!


デザインをする中で写真を使う事もあるため機材がそろっています!

文系
社会教育ゼミ

全体図

教員養成課程小学校社会3回生
西山 穂波（にしやま ほなみ）さん

Q.社会科教育ゼミとは、どのようなゼミですか?

社会科教育学とは教科教育の一分野として位置づけられ、研究内容は多岐にわたっています。
その中でも、社会教育学ゼミでは主に社会科の授業分析や教育研究に取り組み、理論の実践をめざした授業づくりに日々取り組んでいます。ゼミ生は、皆熱心で積極的な人が多いです。

Q.なぜこのゼミを選ばれたのですか?

どのような教材を用い、どのように授業を進めていけばよいのかといった授業づくりを分析する事に興味がありました。
こういったことは直接的に将来教師になった際参考になり、学んだことを役立てられると思ったので、このゼミを選びました。

Q.これから学んでいきたいことは何ですか?

教育学は社会科の授業において中心となる分野ですが、それは他の教科にもつながるものです。ですから将来、学んだことを他の教科に活用できるような授業を展開するため、教育学の幅広い理論を学び、実践していきたいです。

資料がたくさん!

必勝だるまが応援しています!

意外と知らない!?職員の声

学生が普段からよく利用する
施設の職員は、
どんな仕事をしていて、大教生のことを
どう思っているのでしょうか?
図書館とサンカフェで働く職員に
インタビューしました!

SUN CAFE

大教生の「食」を支えてくれている
食堂のみなさん。今回は、勤続21年の
ベテラン山本明美さんと、店長の増田智一さんに
お話を伺いました。

サンカフェスタッフある一日のスケジュール

6:00 / 12:00 / 18:00

7:30 出勤・準備
8:00 開店
2人目出勤
10:00 モーニング終了 ランチ開始
10:30 3人目出勤
11:00 1人ずつ休憩
11:15 4人目出勤
11:30 5人目出勤 バイトの人出勤
ピーク時は2限後
13:30 1人目帰宅
14:00 2人目帰宅
16:00 3人目帰宅
17:15 4人目帰宅
17:30 5人目帰宅

附属図書館

図書館で働く職員さんにインタビュー!
答えてくれたのは
本学の卒業生、塩路陽香さん。
図書館にまつわる
耳より情報もあります!

多読本コーナー
イメージキャラクター
「たどっくー」

図書館専用
Twitterも
開設しています。

Q.大教生の印象は?

増田店長(以下:増田)　ここはもうたくさん学生さんと接している山本さんに(笑)
山本さん(以下:山本)　男女問わず人懐っこいな、という印象です。「おばちゃん、おばちゃん!」と気軽に話しかけてくれますし、卒業してからも来てくれる子もいます。また、主にサッカー部のみなさんがピーク時にアルバイトで入ってくれるのも助かっています。もう我が子のような感覚です。

Q.では、大教全体の印象は?

増田　みんな、なぜか荷物鞄が大きいですよね。合宿に行くのか?というくらいの荷物を持った学生さんをよく見かけます。あとは、何と言っても自然豊か!
山本　自然の中にあって環境がとても良いですよね。のびのび学生生活を送れるのではないかと思います。
山本　ピーク時はとても大変ですが、それ以上にたくさんの学生さんと接することができてとても楽しいです。若さをもらえます!これが、しんどくても辞められない理由ですね。

Q.サンカフェならではのメニューを教えてください。

山本　オススメはやはり、ランチメニューのサンドイッチです。本格的なサンドイッチが食べられるのは本学ではここだけです!あとは、デザートも自慢です。手作りパフェや、サンデーもサンカフェならではです。ぜひ食べに来てください。

Q.大教生にお願いしたいことはありますか?

増田　サンカフェでの、友達との楽しい食事の時間、デザートを食べながら笑顔で会話する時間、コーヒーを飲みながらホッと一息つく時間、としてご利用頂けるスペースを提供することが私たちスタッフ一同の励みであり喜びです。1人でも多くの方にお食事を提供できるよう、混雑する時間帯の「ゆずり愛」をお願い致します。素敵な時間が過ごせるスペースつくりに皆様の協力が必要です。今後も生協をよろしくお願い致します。

Q.普段カウンターで業務をされている時に学生と会話(雑談)することはありますか?

自分の知っている本を学生さんが借りている場合だと「この本面白いよね」と声をかけたり、課題のために本を借りにくる学生さんには「今どんな授業やってるん?」などこちらの情報収集のために聞いたりすることがありますね。

Q.大教生の印象をお聞かせください。

基本的には真面目で、いい子だなという印象です。挨拶からも伝わってきますが、2階の窓越しに蜂がいるとカウンターまで知らせに来てくれる子がいて、親切だなと思う場面も多いです。

Q.図書館を利用する学生に何か一言ありますか

DVDを観に来てくれるのも凄くありがたいですが、大教の図書館は他の大学に比べて新刊の本が多く、読みやすい本も揃っているので、是非本を借りて欲しいです! あと、本の返却期限日は守ってもらいたいです(笑)

Q.大学生のうちに読んでおくとよい本はありますか?

私は池上彰さんの本が好きで、学生が社会人になる前に読んでおくと為になると思います。ほかにも、大学図書館には専門的な本が沢山揃っているので、自分の分野に限らず、別の分野でも面白いなと思う本を読んでもらいたいですね。

多読本コーナーには
読みやすい洋書が
たくさんあります。

Q.将来図書館司書の資格を取ろうと勉強している学生になにかアドバイスをお願いします。

図書館司書はおとなしくて、ずっと本を読んでいるというイメージがありますが、本が好きだからという気持ちだけでなく、図書館のいろんな可能性から、何か新しいことをやってみたいという気持ちを持っているほうがいいです。図書館の機能はずいぶん変わってきて、図書館が主催するイベントの企画やおはなし会など前に立ってする仕事が結構多いので、人前に立つことにも慣れておいてほしいですね。

潜入調査！in 天王寺キャンパス

DETECTIVE

私たち柏原キャンパスのDAIKYO PRESSメンバーが「天王寺キャンパス」に潜入！ DAIKYO NIBU PRESS メンバー協力のもと、知られざる「天王寺キャンパス」の魅力に迫ります！

案内してくれたDKNPの西芝さん

見渡せば更にビックリ！教室の後ろには会議室!?

小学校の教室!?

ここは小学校の教室を模した講義室。本番さながらの模擬授業を展開でき、その後ろには授業後のディスカッションスペースが配置されています。小学校教員養成5年課程の特性を象徴した講義室！

常設ステージ

天王寺キャンパスは柏原キャンパスに比べて規模が小さい分、声が行き届きやすい…、そんな学生の声によってできたのがこの常設ステージ。ステージ利用の企画書を提出して、許可がおりれば二部生の誰でも使用可能です。学園祭のバンド演奏や漫才LIVEなどで活躍しています。

??ンルーム

柏原キャンパスにある、レモンルーム、メロンルームのようなオープンスペースが天王寺キャンパスにもあります。その名も…マロンルーム。名前が違うだけで柏原キャンパスと同じように、中で勉強をしたり又は仲間と雑談をしたり、自由に使うことができます。

クレープの中はチョコたっぷり

食堂&売店

附属中学校、高校と共同の食堂&売店。手作りのクレープや駄菓子など、普通の大学の売店にはない品揃えです…！ また、新メニューの要望もきいてもらえます。

調査結果

「自主的に大学を変えていこう!」という二部生の声によって、実際にキャンパスが変貌を遂げていく…、天王寺キャンパス全体がその魅力を語ってくれています！

今号のDAIKYO PRESSフリーペーパースタッフ

浅野(芸美)、角田(芸美)、松本(芸美)、山住(芸美)、楠(芸美)、鈴木(芸美)、中野(芸美)、芝池(人科)、關根(芸美)、松木田(自研)、山崎(芸美)